

リフレッシュ[®]

リフレッシュ[®]ってなあに？

リフレッシュは我が国で唯一、秋田県八沢木でのみ産出する②:1型モンモリロナイト粘土(軟質多孔性珪酸塩白土)です。この優良粘土は関係学会において「発病抑止型土壌」と評される、作物の安全・安心と品質向上の実現を目指す環境保全型資材です。

[有機JAS規格別表1適合資材]

リフレッシュの特長

1 静菌作用で丈夫な作物

ケイ酸被膜で病原菌(カビ)の菌糸を包み込み、水分を奪って脱水状態にして物理的に枯死させます。また、カビの胞子に張り付き飛散を妨げます。

2 快適環境で根の生長を促進

膨潤性(水を含むと膨張し、乾くと収縮する性質)が土の中で作用し、容易にすき間や割れ目を生じ、通気性、透水性をよくします。また、緩衝能(酸やアルカリを添加してもpHの変化を抑制する力)により、土を自身の中性の範囲に調整します。

3 チッソ過多症を緩和

マイナスの電気を帯びたケイ酸が、過剰な未消化態チッソを吸着し、莖や葉を硬くして軟弱化を防ぎます。

4 ケイ酸とミネラルのW効果

主成分のケイ酸が細胞を強くし、10数種類のミネラルが花の色や野菜・果実の味など、品質を高めます。

5 リン酸の肥効を高める

ケイ酸2つがアルミニウム1つを挟んでいる構造で、リン酸を捕まえてしまうアルミニウムが働けない状態なので、リン酸が植物によく吸収されます。

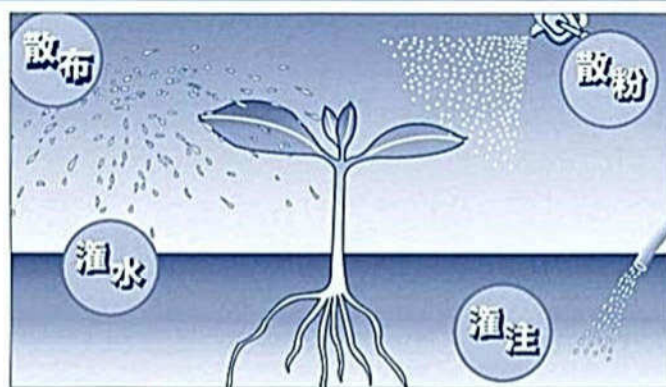
リフレッシュの使い方

散粉 育苗トレイでは、床土の表面がうっすら白くなる程度に散布して灌水。アオコの発生を軽減し、根の健全化を促します

500g/10aを散粉器で散布
ハウス内の多湿、残留農薬・ガスの解消に

散布 1000倍液を7日おきに葉面散布(定期散布)
※ 収穫時期は上澄液で

灌水 1000倍液を7日おきに土壌に灌水
または灌水チューブで2~3kgを流し込む



希釈 1000倍液でアミノ酸系資材、液肥、薬剤(殺菌剤)を希釈
浸透性、相乗効果大
※ 殺虫剤としては解毒作用により殺虫効果が下がる場合がありますので、併用を避けて下さい。

育苗時、元気がない時は
適当量を散粉
湿気、ガス、肥料分を吸着し、健苗にします



成分分析

pH (H ₂ O)	中性	塩基置換容量 (me/100g)	64.5	塩基飽和度 (%)	99.5
(北海道農業試験場分析)					
珪酸 (SiO ₂)	72.96%	アルミニウム (Al ₂ O ₃)	9.92%	カルシウム (CaO)	3.27%
マグネシウム (MgO)	こん跡	鉄 (Fe ₂ O ₃)	4.95%	ナトリウム (Na ₂ O)	4.98%
カリウム (K ₂ O)	0.13%	水分 (H ₂ O)	3.81%		

(東京大学理学部化学教室分析)

製造元 ソフト・シリカ株式会社

〒167-0033 東京都杉並区清水1-16-5 IWAビル
☎ 03-3353-3651(代) FAX03-3353-3188
www.softsilica.com

リフレッシュ[®]

こんな

困った! 余った! に待った!!!

1 ガス障害 (土壌微生物の不活性による)

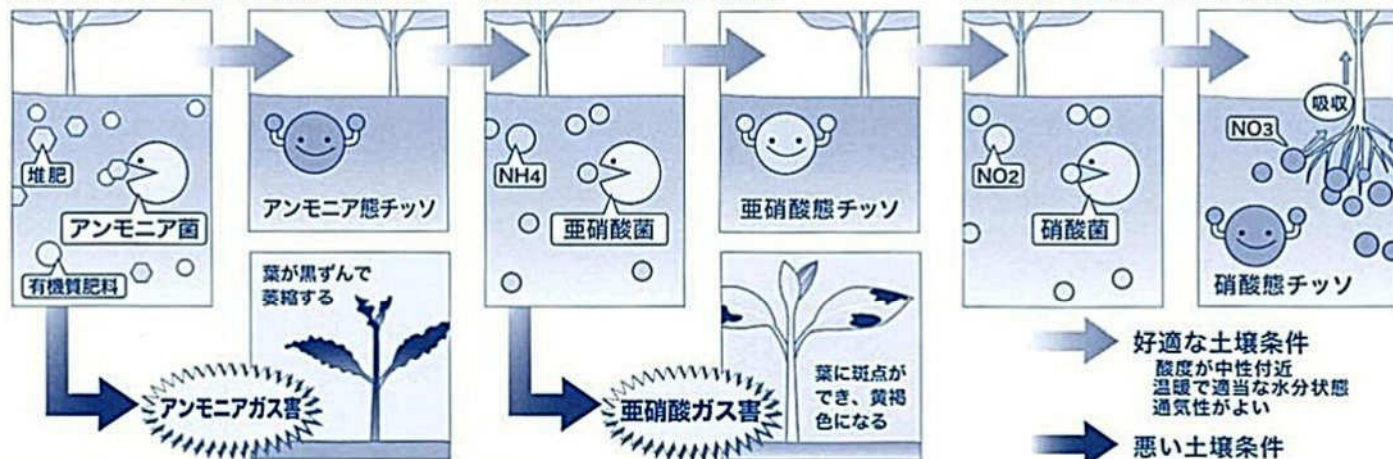
排水不良など土壌条件が悪いと微生物の働きが悪くなり、アンモニアガスなどが発生して葉の気孔から侵入し、害を与えます。リフレッシュは有害ガスを吸着・分解し、有効微生物を活性化して根や葉を元気に育てます。

チツソの変化 (硝酸化成作用) 硝化菌は好気性菌

有機質肥料などはアンモニア菌の働きによりアンモニア態(N)に変化する

アンモニア態(N)は亜硝酸菌の働きにより亜硝酸態に変化する

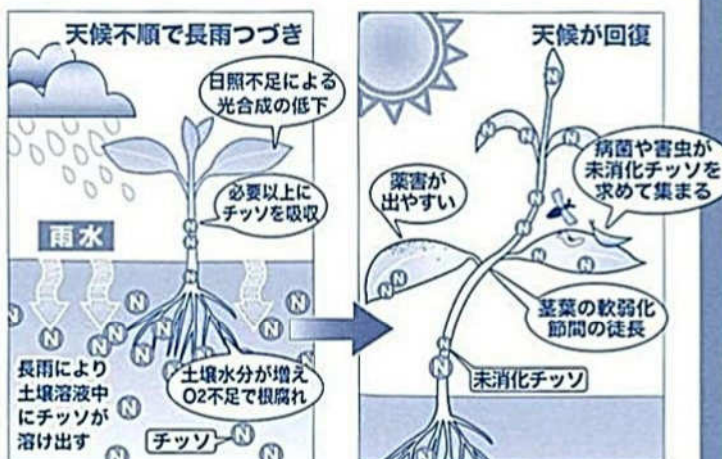
亜硝酸態(N)は硝酸菌の働きにより硝酸態に変化し、植物に吸収される



2 チツソ過多症 (植物のメタボ?)

人間にとって、中性脂肪は大切なエネルギー源ですが、体内に過剰蓄積されると、様々な病気を引き起こします。植物にとってチツソも同様。

リフレッシュは主にこのチツソをコントロールして、植物を健康に保ちます。



3 薬害

希釈ミスにより高濃度の薬剤を散布した時など、リフレッシュは残留農薬や重金属を吸着・分解し、植物を薬害から守ります。

4 塩類濃度障害

ハウス内の土壌中に肥料分が蓄積すると、塩類濃度が上昇し根に障害を与えます。リフレッシュは根の酸化力を高め、発育を促します。



使い方

1,000 倍液を葉面散布、かん水 (または 2~3kg/10a を流し込む) リフレッシュの葉面散布は、葉に含まれる未消化チツソを吸い出します